

〈學術アーカイブス〉

學術辭典叢書

ひとつの用語、一人の人名が、

當時はどのような意味で

語られていたのかを

知るために……

第Ⅰ期 全5卷
第Ⅱ期 全5卷
第Ⅲ期 全5卷

発行 〓 学術出版会
発売 〓 日本図書センター

「アル・エス・エフ」
同じ。其項を見よ。
「エル・エス・
アル・ケイ・ビ」
「カー・バー」に同じ。其項
を見よ。
「アイ・アン・ロー」
アイ・アン・ロー (Iron) と譯す。其項を見よ。
「アイ・ヴォリ」
又は象牙色の厚く光澤ある
いふ場合もある。
「アイ・エル・ビー」
「アイ・エル・ビー」 (I.L.B.)
の略稱。其項を見よ。
「アイ・オーン」
「アイ・オーン」 (Aion) 本來は
せざる持續を意味するが、轉じて精神的の本體
は人間の中間より發生して、神との中間にありて、神との
合方、演劇用語。役者の臺詞の間の
いふ。
「アイ・ゲン・ローイテ」
領の民、又は諸國の民の義にして、我國の
部曲の民といふにその意味が似てゐる。

[illegible]

譯語のオランダ語。譯語の水菓子、を荷附袋の音に轉用したものである。

相對賣買 取引所用語。賣買當事者が取引に於て行はるゝ賣買法のこと。即ち相手國が輸入税を課すればこちらでも課し、相手國が輸入税を課すればこちらでも課し、相手國が課税を課さないといふが如き。

「利他主義に同じ。其項を「イダフリム・ダフリ」(Idafru, Dafri)業旁他同盟の略稱。アメリカの最左隣國。

「イラン」(Iran) 理想。觀念。想。

「アイライズ」(Idealize) 理想化する。理想化。

「イデオロギ」(Ideology) 理想家。理想主義者。一般に「イデオロギ」(Ideology) 其項を見。理想主義。

「イデオロギ」(Ideology) 其項を見。理想主義。

〔九〕社會辭典

時代と呼ぶのである。此の如く企業が集中し、資本主義の原則が自由競争から獨占に變化して來れば、銀行の機能も變質して金融資本を現出させる。金融資本の獨裁狀態に導くのである。カールテルの社會的意義は資本主義が自由競争時代から獨利獨得時代に移つたことを反映し、金融資本の獨裁狀態を暴露する點にあるといはなければならぬ。

ある。随つてそれは契約力強いものである。簡單ではあるが、保険金額も比較的少額である。だから、小口保険とか、少額保険とか呼ばれることもある。又、此保険は被保険者の身體検査を行はずして契約を結ぶものであるから、無診査保険ともいへる。無診査のから、無診査保険と、或る種病者が加入で契約される結果、被保険者の死亡率が高いので、それに因る損害を少からしむる爲、一定の停止期間を設けるものも多い。

簡易食堂

下層階級の生活を安易ならしむる爲、簡易に於て低廉なる食事を供給する所であるもの、東京市では、慈善的團體の經營及び上野に出資外に、大正九年以來神樂坂及び上野に市營の公衆食堂を設けたが、其成績が頗る良かつたので、大正十一年から神田橋牌、坂本公園に之を増設した。今日では東京市だけに九箇所の簡易食堂があり、大正十四年下期に於ける一箇月平均の入堂延人員数は、東京半期に於ける一箇月平均の入堂延人員数は、五十九萬六千八百四十九人であつた。東京に次で簡易食堂は神奈川縣に多く、七箇所に次で、簡易食堂は合せて六十一の簡易食堂があり、大正十四年下期に於ける一箇月平均の入堂延人員数の總計は百八萬九千三百八十九人であつた。

簡易保健

社會政策的目的の爲、専ら

り加入従年乃至二年に二割を超過する一切の加入の場合に保険金とては、保険金徴収に更に此保険の特徴としては、保険金徴収と集金人を用ゐる場合が多いことも數へられであらう。何分、労働者等を被保険者と爲す爲、保険料を多徴せしむることが困難だからである。此の如く簡易保険は死亡率が高く、且より多くの経費を要するが故に私營会社が行ふことは困難で、日本の簡易手で經營されてゐるのである。日本の簡易保險法は大正五年七月に法律第四十二號で發布されたものである。之に依ると簡易保險は政府の經營で、保險会社の經營が禁ぜられてゐる。身體検査を行はぬこと、保險契約後二年内に災害又は傳染病預防法第一

昭和初期の知的状況の総覧であり、文献精読に必須の辞典群

特色

- 昭和初頭の思想・政治・経済・科学の文献を読む際に、当時の定義・用法・語感を調べるための辞書として役に立つ。
- 東洋思想・哲学と西洋思想・哲学、諸宗教が混在していた昭和初頭における思想・学術界の記録として、貴重な資料である。
- 社会主義思想や社会運動に対する評価など、大正デモクラシーから国家主義への移行期の記録として、興味深いものとなっている。

第Ⅰ期 ● 全5巻

二〇一〇年九月刊行

1 文芸辞典

文学を中心に絵画・建築などを含めた芸術辞典。北欧文学の記述の多さなどは現代から見ると新鮮。

2 哲学辞典

哲学を中心に心理学・教育学を含めた用語辞典。西洋哲学と東洋思想、諸宗教の混在が昭和初期の知的状況を反映。

3 東洋思想辞典

中国を中心にインド・日本を含めた東洋哲学辞典。現在でも辞典としての使用が可能といえる充実した内容。

4 思想用語辞典

哲学・思想用語に一般常識も加えた、読み物としても楽しめる、昭和初期版「現代用語」基礎知識集。

5 思想家人名辞典

古今東西の約三〇〇〇名を解説。ソヴィエト政府要人や同時代のスペイン、中国の社会運動家なども収録。

第Ⅲ期 ● 全5巻

二〇一一年二月刊行

11 思想名著解題 (1)

西欧における政治・経済・社会科学の名著約一四〇点の解題。

12 思想名著解題 (2)

古今東西の哲学・自然科学・文学の名著訳一〇〇点の解題。

13 思想名著解題 (3)

欧米・中東における哲学・文学の名著約一二〇点の解題。

14 思想名著解題 (4)

社会主義文献五〇点を含む、政治経済学の名著約一八〇点の解題。

15 思想名著解題 (5)

インド・中国・日本の宗教・哲学・文学における名著の解題。

「思想名著解題」について

詳細な概説により、取り上げられた著述家・著作の当時の評価や位置付けを知ることができる。また、文学作品のあらすじ、山場や名台詞の紹介もあり、読んで楽しめる解題となっている。

【ラ】

ラブリオラ 社会主義と哲学 (Antonio Labriola; Socialism and Philosophy, 1906.)

概説 ラブリオラは、一九〇三年に死去する迄の間、長くローマ大学の教授の地位にあった。彼は若い時代には熱心なヘーゲリアンで、ヘーゲル哲学に對する造詣も深かった。併しその後ヘーゲルの自由意志と道德意識に關する論説に解き難き矛盾の存在する事を知り、獨り疑惑の迷雲に閉ざされ

は何であるか。それは一の努力であり、新しい労働である。それを働かすには、長い間の取扱ひによつて熟練され、有効とされてゐる成熟せる經驗、組織的手段の材料を必要とする。一の完成された仕事、完成された思想は、次の新しい思想の作成を容易ならしめる事は疑ひない。先づ第一に、昨日の産物は今日の著作及他の代表的藝術の内に結合されて残り、第二に吾々によつて蓄積された精力が透入して労働を與へ、それによつて律動的運動を保留するが故である。新しい思想を生み出す毎に、吾々は外的經驗と現實的經驗の衝動を要するのみで

第Ⅱ期 ● 全5巻

二〇一〇年十一月刊行

6 自然科学辞典

動植物学・物理学・化学・生理学・天文学・地質学などにおける学説・術語・方程式など約八〇〇〇項目を網羅した用語集。

7 社会辞典

社会学・社会思想・社会問題・社会運動、社会制度の概説、さらに日本史や民俗学の成果を含んだ用語集。

8 経済辞典

経済学上の術語だけでなく、新聞・雑誌から収集した言葉を加えた用語集。当時の新聞を精読するための必備図書。

9 政治・法律辞典

学術的な術語集としてだけでなく生活に役立つことも意識した用語集。付録として日常的法律文書の書式付。

10 歴史辞典

西洋・東洋の歴史上の人名辞典・用語集。日本史は、神話の天地初発之時から大正十四年の治安維持法まで。巻末に「東西対照年表」付。

【本叢書について】

昭和三年から五年に刊行された「大思想エンサイクロペディア」全36巻は、宇野哲人、三木清、大川周明、美濃部達吉ら一流の執筆陣による、概説書と辞典の両方を兼ね備えた事典である。本叢書は、そのなかで用語辞典の体裁をとる第22〜36巻（全15冊）を復刻したものである。

内容見

▲現在では翻訳が入手困難なものも含めて、名著の概説やあらすじを読むことができる。
(第Ⅲ期「思想名著解題(4)」より。部分、原寸)

▼昭和10年に国体明徴宣言で排除された「天皇機関説」も、刊行時(昭和4年)は「通説」であった。
(第Ⅱ期「政治・法律辞典」より。部分、原寸)

天皇 【國法上の地位】 天皇の國法上の地位に就いては大體二様の見解がある。一は天皇主體説であり、他の一は天皇機關説である。前者は憲法第一條に「大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス」第四條に「天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總攬シ此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フ」とあり、又第二條に「皇位ハ皇室典範ノ定ムル所ニ依リ皇男子孫之を繼承ス」との規定を以つて直に日本帝國統治權の主體が天皇に他ならずと主張するものである。之に反し天皇機關説とは、天皇は國家の統治上の最高機關であつて、統治權を總攬する者である、即ち天皇の意思が直に國家の意思であつて、天皇の意思に基づくにあらざれば、統治權は遂に發動しないのである、と説くのである。後者を以つて通説とする。尙天皇が國家の機關たるを認むるも、天皇が統治權を總攬するものなることを認めざる學者も少くない。即ち憲法の「統治權ヲ總攬シ」と

▶西洋と東洋を並記した構成が多いことは、この辞典群の特徴である。近代のアジアに目を向けた内容も多い。
(第Ⅱ期「思想家人名辞典」より、70%縮小)

【乙】思想家人名辞典

二四三

学術辞典叢書

第Ⅰ期
第Ⅱ期
第Ⅲ期

■定 価 第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期、全15巻 揃定価 189,000円 (本体180,000円+税)

各期、全5巻 揃定価 63,000円 (本体60,000円+税)

各巻定価 12,600円 (本体12,000円+税)

■体 裁 A5判・上製・総約5400頁

■底 本 『大思想エンサイクロペディア』第22～36巻、昭和3 (1928) ～5 (1930) 年、春秋社

<おすすめ先>

公共・大学図書館、近代日本の思想・文化・社会の研究者、昭和初期の文献を読む必要がある方

注文書 FAX 03-3947-1774

				注文数
第Ⅰ期 全5巻 揃本体60,000円+税 揃本文約1800頁 ISBN978-4-284-10244-5 2010年9月刊行				セット
1	文芸辞典	本体12,000円	ISBN978-4-284-10245-2	冊
2	哲学辞典	本体12,000円	ISBN978-4-284-10246-9	冊
3	東洋思想辞典	本体12,000円	ISBN978-4-284-10247-6	冊
4	思想用語辞典	本体12,000円	ISBN978-4-284-10248-3	冊
5	思想家人名辞典	本体12,000円	ISBN978-4-284-10249-0	冊
第Ⅱ期 全5巻 揃本体60,000円+税 揃本文約1900頁 ISBN978-4-284-10250-6 2010年11月刊行				セット
6	自然科学辞典	本体12,000円	ISBN978-4-284-10251-3	冊
7	社会辞典	本体12,000円	ISBN978-4-284-10252-0	冊
8	経済辞典	本体12,000円	ISBN978-4-284-10253-7	冊
9	政治・法律辞典	本体12,000円	ISBN978-4-284-10254-4	冊
10	歴史辞典	本体12,000円	ISBN978-4-284-10255-1	冊
第Ⅲ期 全5巻 揃本体60,000円+税 揃本文約1700頁 ISBN978-4-284-10256-8 2011年2月刊行				セット
11	思想名著解題(1)	本体12,000円	ISBN978-4-284-10257-5	冊
12	思想名著解題(2)	本体12,000円	ISBN978-4-284-10258-2	冊
13	思想名著解題(3)	本体12,000円	ISBN978-4-284-10259-9	冊
14	思想名著解題(4)	本体12,000円	ISBN978-4-284-10260-5	冊
15	思想名著解題(5)	本体12,000円	ISBN978-4-284-10261-2	冊

書店印	お名前
	ご住所(〒 -)
	TEL FAX

<発行>

学術出版会

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2

TEL 03-3947-9153 FAX 03-3947-9157

http://www.gaku-jutsu.co.jp

E-mail: info@gaku-jutsu.co.jp

<発売>

日本図書センター

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2

TEL 03-3947-9387 FAX 03-3947-1774

http://www.nihontoshu.co.jp

◆取扱書店